産婦人科は、

分泌、

発 行 所

新潟県医師会 新潟市中央区医学町通 2-13 TEL 025 (223) 6381

合聖 周隷産派

期松

母子医安全

療産 セ科ン部

長総

村

研究科 産科婦人科学 教授新潟大学大学院医歯学総合 原 弘

「産婦人科 「産婦人科の魅力をお伝えしたいと思います。今回、複数の先生方がそれぞれの視点から産婦人科の魅力を語ってくださることと思いますので、私は俯瞰的な視点からその魅力をお伝えしたいと思います。

6、婦人科腫瘍、 周産期、生殖内 女性ヘルスケアの4つの分野からなり、それぞれが女性の生涯にわたる健康を支え、豊かな社会の実現に欠かせない役割を担会の実現に欠かせない役割を担合が急務です。経済産業省の社会課題をなっており、多様な人材が健康で安心して働ける環境の整備によれば、月経随伴症候群、更によれば、月経随伴症候群、更によれば、月経随伴症候群、更によれば、月経随伴症候群、更によれば、月経随伴症候群、更によれば、月経随伴症候群、更によれば、月経随伴症候群、更によれば、月経随伴症候群、更によれば、月経随伴症候群、更によれば、月経随伴症候群、更によれば、月経随伴症候群、更によれば、月経時代を支援を表する。

どもを望む方々に対する生殖

減少への対策 新たな命

策の医

…である。とてもこの幅広く奥深い魅力を

支える産婦人科が、社会経済的にも極めて重要な役割を担っていることが分かります。 特に、月経随伴症候群や更年のが現状です。産婦人科が、社会経済的のが現状です。産婦人科がとったけでなく、社会全体の就業継続や実務をは、女性の命と生活の質をは、女性の命と生活の質をは、女性の命と生活の質をがある上で不可欠です。がんのき断・治療と強がし、女性個人の生活の質をがあるとががあることががあることが可能となり、貴重な人材ができます。

な使命の一つです。同時に、子守ることは産婦人科の最も重要産期医療を提供し、母子の命を会において、安全で質の高い周会において、安全で質の高い周 できます

母子医療新潟市5 |療センタ・||民病院 | 産科部| 総合周産期 長期 倉 林

工

にて、手術室へ直行した。盤早期剥離による胎児機能不全盤早期剥離による胎児機能不全下腹部は板状硬、胎児徐脈持続、 エコーにて胎盤後血下腹部は板状硬、胎児 下腹部は板状硬、胎児徐脈蛙絡。 救急車にて到着した妊 婦 続の

師、放射線技師に連 産科拘束医、麻酔科 産科拘束医、麻酔科 で、手術室、検査技

横築をめざしていまや早期搬送のタイミとともに、搬送元の施設間や職でよる垣根をこえを担保をこえるでは、からでは、地送元ととがでくれる。

△症例2▽40歳代、初回妊娠 る理解の名画の なにて前医で緊急帝王切開、その 数年後の2回目も HDP のため 前医から当院へ母体搬送される を内服し、1ヶ月検診時には高 血圧が改善したため降圧剤内服 を終了し自宅血圧測定を指示された。1年後、意識障害・右高 度片麻痺・全失語にて当院救急 外来に搬送され、CT上左被殻 出血の診断にて内視鏡的脳内血 産婦人科の専門領域の4番目 の柱である「女性医学」とは、 の性に特有な心身にまつわる疾 を主として予防医学の視点か も取り扱うことを目的としてい

す。 は、これからも産婦人科医療は、女性の健康を支援することは、女性の健康を支援することは、女性自身の人生の質を高めるとともに、社会的・経済的な利益をもたらすという好循環を生み出します。産婦人科医療は、女性の建度な基盤といえます。 私は、これからも産婦人科医をとして、女性の健康支援を通じて、女性の健康支援を通じて社会全体に貢献してまいります。。 にも貢献しています。誕生を支え、人口減少療の提供を通じて、新

カして数十年にわたる健康管理 カして数十年にわたる健康管理 カして数十年にわたる健康管理 大姓医学の領域は、思春 ます。 固産期の異常が将来の生活 を医療スタッフが認識し、女性の生 ではるの性ではるの性では2型 などをとかれば産婦人科医の仕 を医療スタッフが認識し、女性の生 では2型 が場所になる危険率が約7倍では2型 が場所になる危険率が約7倍では2型 が場所になる危険率が約7倍では2型 を医療スタッフが認識し、妊産 を医療スタッフが認識し、妊産

を選びます を選びます を選びます を選びます を選がたのか、どうして産婦人 を選がたいので学生の時に では十分に語ることがで では十分に語ることがで では十分に語ることがで がとの頃(当時は初期 がだった)にはそこまで魅力を 感じて産婦人科を選んだわけで 直か度 せる ら や 修う

にあたることも、女性医学の大切な分野の1つです。 医師は常に知識や技術の向上のための研鑽と自身の健康管理のための研鑽と自身の健康管理が大切です。さらに数分を争うが大切です。さらに数分を争うが大切です。さらに数分を争うが大切です。さらに数分を争うが大切です。さらに数分を争うが大切です。さらに数分を争うが大切です。 が重要です。普段から仲間

越

は覚えていないが、なんとなくは覚えていないが、なんとなくは覚えていないが、なんとなくのが産婦人科を選択した様な気がする(当時120人の同期のうちる(当時120人の同期のうちる(当時120人の同期のうちる(当時120人の同期のうちる(当時120人の同期のうちるが産婦人科に入局した)。

**

田文 そり、 紙持 **紙面では語り尽くせない。** 持つ診療科である。とてもこのそれほど、幅広く奥深い魅力をり、「YES」と答えるだろう。

産埼 ***

屋婦 人 科 主位 I 総合病院 高 橋 裕

ば持れ事増っすな、加 っていながらながら 々言 管な話、 宗教、

事、習慣など様々な対応に追ら 村すべくスタッフー同日々がん を会わせています。 を会わせています。 をとながら、周産期管理の質を維 が死に物狂いで呼吸をし始める を思っています。 をとの分野の情報し、「こ をとの分野の情報も必 を選択した。今でもこの時の「野 をは常して、様々な専門分娩で、 選択肢が広い。 を選択した。 を要になり、その中でもさる を選択した。 を選択した。 を選択した。 を選択した。 を連入科を選択した。 を選択した。 を認れした。 をなる。 をなる。

玉 の分娩は着 着実に、

質の高い あります 広さに、

努力することが求められ

中でも、最近は改めて分娩の 中でも、最近は改めて分娩の をどのタイミングでどう介助 のをどのタイミングでどう介助 のをどのタイミングでどう介助 の生命の安全を最優先に、患 の生命の安全を最優先に、患 の生命の安全を最優先に、患 をができることに、何 にも代えがたいやりがいを感じ にも代えがたいやりがいを感じ ます。年を重ねるごとに怖い思

い「分娩は怖いけどやっぱたことや学んだ知識をか りみ 面し

自い」と感じています。 年代的に管理者や指導者という役割の仕事も増えましたが、 られ、勉強しなければと必要に迫 られ、勉強すればまた視野が広 られ、勉強すればまた視野が広 がり前進できる、そして患者さ んが喜んでくださる姿がなによ りの励みになりますので、臨床 医として進歩できるよう努力し ましたが、「産婦人科の魅力」 が伝わると光栄です。

新潟病院 婦人科部長新潟県立がんセンター 西 Ш 伸

8年に新 大学を卒

られていることに非常にやり技術を磨くことで患者様を助 がけの目

> 婦越 人総合 合 部病 長院

山

岸

葉

平成20年に医師となり、研修 下は、 でいた頃、産婦人科研修中に、 方のお見送りをした直後に他の 方のお見送りをした直後に他の 方のお見送りをした直後に他の 大きく揺さぶられたことがあり ました。産婦人科医としてそれ ぞれの場面で的確な対応をして ぞれの場面で的確な対応をして ぞれの場面で的確な対応をして を婦人科は周産期・生殖内分 ※・婦人科腫瘍・女性ヘルスケ アなどさまざまな視点から女性

に寄り添い、サポートすることに寄り添い、サポートすることのできる科は他にはありません。その分、身につけるいき知識や技術は幅広く、専門べき知識や技術は幅広く、専門べき知識や技術は幅広く、専門でが、身に学び続ける覚悟も必要です。常に学び続ける覚悟も必要です。常に学び続ける覚悟も必要です。本が腹腔鏡手術を知ったのは産私が腹腔鏡手術を知ったのは産人科に入局した後でした。鋭

大学を卒業 私は平成 産婦人科 医長長岡中央綜合病院 小

す。私が産婦人科を意識し始めたのは、医学部5年生のときでした。実習で各科を回るうち、内科と外科どちらの要素も持つ科と連携する場面はあるのですが、診療内容が重なる科はほとが、診療に魅力を必ずるとは、産婦人科に決めたのは、特に産科の人科に決めたのは、特に産科の人科に決めたのは、特に産科の人科に決めたのは、特に産科の人科に決めたのは、特に産科の人科に対しています。といるが、お別をしつかりと地接しています。といるが、お別をしつかりと地接しています。というない、状況をしつかりと地接しています。というないが、大記をは、というないが、はいるとは、というないが、はいるとは、というない。 が正め上判診あし、断療 し、 産婦人科を 選 在 6 年 現 在 6 年 日になりま は、 医学部5年生のときで は、 医学部5年生のときで は、 医学部5年生のときで り きな責任 ます。

を選択してよかったと思っていいを感じていますし、産婦人科

その一方、妊婦健診ほど明るい 表面気の外来はないと思います とても感動的です。分娩は休 日・夜間でも関係ありませんが、 日・夜間でも関係ありませんが、 とであり、カバーする領域が広 が、近くに大きで、異所性妊娠や別に を中心に教わりました。新潟市民病院に赴任 し、経腟分娩・妊婦健診・帝王 ともあり、異所性妊娠や別ませんが、 が、近く時傷がでした。新潟市民病院では、 を中心に教わりました。新潟市民病院に赴任 ともあり、異所性妊娠や別と思います。 が、近く時傷がでした。新潟市民病院では、 を中心に教わりました。新潟市民病院に赴任 ともあり、異所性妊娠や別と思います。 が、近く時傷がでした。 等の外来管理がメインでした。 が、近くに開業の産婦人科をやって が、近くに開業のと思います。 を中心に教わりました。 新潟市民病院では、 大局し ました。村上総合病院や長岡赤 が、近くに開業の産婦人科が広 が、近くに開業の産婦人科をやって が、近く時傷が、 が、近くに関係ありませんが、 を中心に教わりました。 新潟市民病院では、 大局し ないるこ をの外来管理がメインでした。 が、近くに開業の産婦人科がな が、近くに開業の産婦人科がな

也

にしない症例も経験できました。立川綜合病院では、少子化た。立川綜合病院では、少子化た。立川綜合病院では、少子化の中で分娩を数多く経験でき、生殖医療についても一から勉強することができました。余談ですが、ここでは第1子も誕生しました。妊婦健診で成長を実感し、分娩にも立ち会いました。余談できない貴重な経験ができました。現在勤務している長岡中央た。現在勤務している長岡中央に。現在勤務している長岡中央に、分娩にも立ち会いました。余談できない貴重な経験ができました。

子 村な鉗子を体内で扱うことに恐怖を感じ、どちらかと言うとマイナスのイメージを持った記憶作し釣り針を使って縫合のトレーニングをしていた上級医の向上心を当時理解することは不可能でした。それが時を経て、手能でした。それが時を経て、手能でした。それが時を経て、手能を学ぶ機会をいただき、日常臨床として行うことが通常となりました。育成力向上に寄与するために何ができるか試行錯誤

性に寄り添うことではいます。

学び続ける中で興味が広がって 学び続ける中で興味が広がって 学び続ける中で興味が広がって 小的にも大きく変動する女性の 一生をより良いものとするため に対応していける医療者であり に対応していける医療者であり たいと思います。 かけは何であれ、ことのできる科で多様な視点から女

産 婦 人 科 医 長柏崎総合医療センター 加 藤

> 都 美

に産婦人科 「は、女性へルスケアでした。 「はその中でも不妊症をデーマはそれぞれ腫瘍、 が、研究テーマはそれぞれを顕いたの中でも不妊症をできそうとい をきに産婦人科の研修をできそうとい が、研究テーマはそれぞれ腫瘍、 が、研究テーマはそれぞれを選 が、研究テーマはそれぞれを選 が、研究テーマはそれぞれを選 が、研究テーマはそれぞれを選 が、研究テーマはそれぞれを選 が、研究テーマはそれぞれを選 が、研究テーマはそれぞれがのことは をきに産婦人科を選 がらりと変化しました。「産婦人科 ときに産婦人科に対する印象が ときに産婦人科に対する印象が ときに変化しました。「産婦 大科は人が産まれる前から亡く ないらした。 なるまでの一生をみることがで という印象が 強くな

合病院で初期研医学部卒業後2魅力的に感じまた 、産婦人科への入いをさせていただいをさせていただいをさせていただいをさせていただいをさせていただいをさせていただいをさせていただいが修をさい、 長岡中央綜

た。定何 か成の立ち合いをさせていただき、どの診療科も魅力的に感じます。最小限の中でも 治療を完遂することなってからは、 音順しております。最小限の中でも 治療を完遂することを目標の中でも を共有することができるという時長があります。患者さんと長い期間 を共有することができるという特長が を共有することは、信頼関係を を共有することは、信頼関係を を共有することは、信頼関係を を共有することは、信頼関係を を共有することは、信頼関係を を共有することは、信頼関係を をささないると を共有することは、信頼関係を を共有することは、信頼関係を をささせていただ をはております。最小限の中で をは、から手術、化学療 を共有することは、信頼関係を をささないると をさるという時長が

腫瘍の治療を行うとともに、腹 際鏡手術や骨盤臓器脱の治療を 第一線で活躍する先生にご指導 いただいています。無痛分娩の いただいています。無痛分娩の している最中でもあります。 している最中でもあります。 がした診療が行われています。 がした診療が行われています。 人科の奥深さを改めて認識し、 がら、日々精進していく所存です。 がら、日々精進していく所存です。

今回の勤務医ニュースは産婦 人科の先生方からご寄稿頂きました。お産や婦人科の先生方からご寄稿頂きます。卒業すると同時に、どのおった時代を生きてきた人間といった時代を生きてきた人間としては、今の研修医は実際の臨床を回りながら、2年間じっくりできます。先輩等にも相談とができます。先輩等にも相談しながら、しっかり悩み、考え、とがら、しっかり悩み、考え、自分の進むべいってほしいと思います。。 「は、今の研修医は実際の臨床を回りながら、2年間じっくりを当ます。先輩等にも相談のながら、2年間じっくりを当道を選んでも、どの対を表していませんし、この先も、との道を選んでいってほしいと思います。。 「藤田) 築く上でとても重要だと感じるようになりました。外来では、悪性腫瘍や良性腫瘍以外にも不妊症や月経困難症、更年期障害、いかやライフステージによってみの最良の治療は、生活スタイルやライフステージによって異なります。挙見希望や妊孕性のお療と薬物療法を組み合わせながら治療と薬物療法を組み合わせながら治療と薬物療法を組み合わせながら治療とでもがあり、同時にやりがいを感じることもあり、同時にやりがいを感じます。 4月からは柏崎総合医療センターに勤務しています。 最近嬉しかったことでは、妊婦さんに「先生に上の子は、妊婦さんに「先生に上の子は、妊婦さんに「先生に上の子は、妊婦さんに「先生に上の子は、妊婦さんに「先生に上の子が、今後も研鑽を終了し今と言っていただき光栄であるとともに、身の引き締まる思いです。 よだまだ至らぬ点ばかりではあいますが、今後も研鑽を積んでも貢献の女性たちの健康に少しでも貢献できれば幸いです。